


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2015年09月11日	アメリカ大陸における麻しんの流行（更新3）★
アフリカ	2015年09月11日	エボラ出血熱の発生状況（第36週）：補足
—	2015年09月09日	中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況（更新67）
アフリカ	2015年09月09日	マリでポリオが発生しています
アフリカ	2015年09月08日	タンザニアでコレラが流行しています
アフリカ	2015年09月08日	ペストの発生－マダガスカル
中南米	2015年09月07日	カリブ海諸国におけるチクングニア熱の患者の発生状況（更新8）

★【2015年09月11日更新 アメリカ大陸における麻しんの流行（更新3）】

麻しん（はしか）は、麻しんウイルスが、空気感染、飛沫感染、接触感染によって人から人にうつるウイルス感染症です。その感染力はウイルスの中で最も強く、麻しんを発症している人と同じ部屋にいただけで（空気）感染することがあります。また、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。成人の方が重症化する傾向があり、肺炎や脳炎などの重い合併症を起こします。

2015年9月5日に公表された汎米保健機関 PAHO/WHO の Measles Weekly Bulletin 2015によりますと、アメリカ大陸各地で麻しんが流行しています。

2015年初めから第35週までに、ブラジル（156人）、メキシコ（1人）、カナダ（195人）、アメリカ合衆国（188人）、チリ（9人）、ペルー（4人）で発生が報告され、合計553人に達しています。最近では、アメリカ合衆国で第31週に、チリで第27週に、ペルーで第25週に、発生が報告されています。

流行地へ渡航される方は、現地の流行状況に注意してください。

麻しんはワクチン接種で予防することができます。予防効果を確実にするためには、2回の接種が必要です。現在、1歳と小学校入学前1年間の子どもに対して、計2回の定期予防接種が行われています。麻しんの流行がみられる地域へ海外渡航される前には、母子健康手帳などで、予防接種歴を確認してください。麻しんに感染したことがない方で、麻しんのワクチン接種を受けたことがない又は1回しか受けていない方、もしくは接種歴を確認できない方は、流行地へ渡航する前に、早めに医師に相談してください。